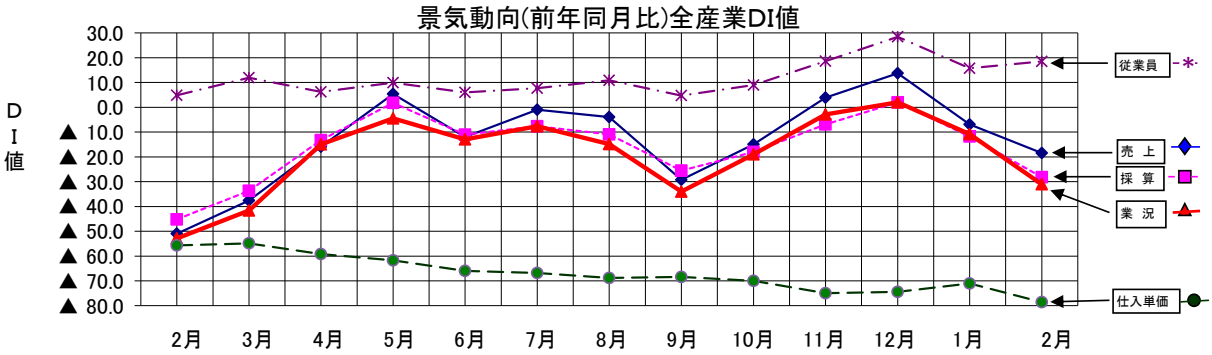
早期景気観測調査　新潟商工会議所管内　2月分

【2月の概要】　　感染収束見えず、経営状態はさらに苦しさ増す
年度末控え、濃厚接触者増による人手不足を懸念する声も

業況判断を示すDI値は、まん延防止特別措置の影響もあってか、業況DIで前月比20.3ポイントと大幅に悪化。仕入単価DIもエネルギーや原材料の高騰により前月から14.2ポイント悪化し、▲80ポイント台に迫る数値となっている。先行き見通しについては、感染者数が高止まっていて第6波収束の兆しが見えないことから慎重な見方が続いており、仕入単価で前月比▲14.2と大幅に下降している。

寄せられたコメントでは、引き続き原材料・燃料の高騰、半導体関連の商品不足、人材不足が深刻ななか、濃厚接触者の増加により現場対応ができなくなることを心配する声も多く、新型コロナの影響がどこまで続くのか悲痛な声が多く寄せられた。



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)＝(良い割合)－(悪い割合)

	2021年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2022年2月	
売上	▲ 51.0	▲ 37.6	▲ 15.9	5.4	▲ 12.0	▲ 1.0	▲ 4.0	▲ 29.3	▲ 15.0	3.9	13.7	▲ 6.9	▲ 18.5	↘
採算	▲ 45.2	▲ 33.7	▲ 13.3	1.8	▲ 11.0	▲ 7.7	▲ 10.9	▲ 25.5	▲ 18.0	▲ 6.9	2.0	▲ 11.8	▲ 28.2	↘
業況	▲ 52.9	▲ 41.6	▲ 15.0	▲ 4.5	▲ 13.0	▲ 7.7	▲ 14.9	▲ 34.0	▲ 19.0	▲ 2.9	2.0	▲ 10.8	▲ 31.1	↘
仕入単価	▲ 55.7	▲ 54.9	▲ 59.2	▲ 61.7	▲ 66.0	▲ 66.8	▲ 68.8	▲ 68.4	▲ 70.0	▲ 75.0	▲ 74.5	▲ 71.1	▲ 78.6	↘
従業員	4.8	11.9	6.2	9.9	6.0	7.7	10.9	4.7	9.0	18.6	28.4	15.7	18.5	↗

・プラス幅が増加したDI値：従業員2.8ポイント（人手不足局面へ）
・マイナス幅が増加したDI値：売上▲11.6ポイント、採算▲16.4ポイント、業況▲20.3ポイント、仕入単価▲7.5ポイント

向こう３か月間の先行き見通し

	売上(受注･出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
12月	▲ 11.8	▲ 21.6	▲ 15.7	▲ 41.2	24.5
1月	2.0	▲ 11.8	▲ 9.8	▲ 43.1	18.6
2月	▲ 3.9	▲ 13.6	▲ 9.7	▲ 57.3	14.6

・見通しが改善したDI値：業況0.1ポイント、従業員▲4.0ポイント（需給均衡局面へ）
・見通しが悪化したDI値：売上▲5.9ポイント、採算▲1.8ポイント、仕入単価▲14.2ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	管工事	海外からの部品供給が滞っており、給湯器・温水洗浄便座等を必要とする工事受注に影響が出ている。
	設備工事	濃厚接触者が出る等、一人でも社員が出社できなくなれば仕事の進捗に多大な影響が出てくる。
製造業	鋼材卸売	電気電子部品の品不足・長納期化が目立つ。部品が一つ入荷しないために客先に納期延長をお願いせざるを得ない。
	板金・熔接	材料高騰、在庫薄で仕事が進まない。人材不足はこれからも続くと思われる。
卸売業	建材	公共工事発注数が前年比減少傾向にある。
	水産物	原材料高騰と品薄が止まらない。
小売業	印鑑・印刷物	まん延防止等重点措置以降、来店客が減少している。3回目接種が進まないと売上は改善しない。
サービス業	ソフトウェア	年度末の繁忙期を迎え、濃厚接触者の増加に伴い、就労不能者の発生が懸念される。
	タクシー	1月下旬からのオミクロン株拡大で、回復傾向だった景気・人流等が一気に落ち込んだ。
	運輸	燃料価格の高止まりが続き、経営に大きなダメージが生じている。長期化が不安。